

第4次加賀市行政改革大綱

具体的取組項目

(各年度の達成目標・数値目標)

令和4年3月

加賀市

目次

(I) 組織・行財政改革編	
1	【基本方針1】自治体 DX の推進 1
	(1) 行政事務の効率化 1
	(2) 職員の能力向上と人材の活用 3
	(3) 行政サービスの向上 4
2	【基本方針2】連携・協働によるまちづくりの推進 6
	(1) 市政への積極的な市民参画の促進 6
	(2) 各種団体との連携の推進 7
	(3) 積極的な行政情報の提供 8
3	【基本方針3】質の高い行政サービスの提供 9
	(1) 機能的で最適な行政組織の構築 9
	(2) 民間活力を活用した行政サービスの向上 10
4	【基本方針4】持続可能な財政運営の構築 12
	(1) 将来を見据えた財政運営 12
	(2) 歳入の確保 14
	(3) 地方公営企業の経営健全化 15
5	【基本方針5】公共施設マネジメントの推進 16
	(1) 分野別計画の推進 16
	(2) 公共施設の最適化 19

(I) 組織・行財政改革編

1 【基本方針1】自治体 DX の推進

(1) 行政事務の効率化

番号	①	取組 項目名	情報システムの標準化・共通化及びガ バメントクラウドへの移行に合わせ た行政 DX の推進			担当課	スマートシティ課
						新規	
取組 内容	令和4年度から令和7年度末まで実施予定の基幹系業務の国標準準拠システ ムへの移行と、それに合わせて既存業務の見直しと業務改革を行い業務の最適 化・効率化を行う。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	移行計画策定・現 状・実態調査	移行方針確定・業 務フロー見直し	国標準準拠システ ムへの移行・業務 改革	—————→	国標準準拠システ ム運用・業務改革 継続		
数値 目標	—	—	—	—	—		

番号	②	取組 項目名	電子入札及び電子納品等の推進			担当課	財政課
						継続	
取組 内容	電子入札は工事・コンサルのほか、樹木管理等一部業務で実施し、電子納品 は県のガイドラインに沿って導入を実施しているが、取組の拡大に向けて可能 な限り実施を推進する。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	業務における電子 入札の実施・電子 納品の工種拡大				—————→		
数値 目標	—	—	—	—	—		

番号	③	取組 項目名	テレワークの推進			担当課	人事課 スマートシティ課
						新規	
取組 内容	新型コロナウイルスへの感染防止と行政機能の維持を目的として、現在、試 行しているテレワーク勤務制度について、育児・介護等を行う職員の働きやす い職場環境整備の観点からも、多様な働き方の一つとして本格的に実施する。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	テレワークの推進				—————→		
数値 目標	—	—	—	—	—		

1 【基本方針1】自治体 DX の推進

(1) 行政事務の効率化（つづき）

番号	④	取組 項目名	AI等の利用促進			担当課	スマートシティ課	
						新規		
取組 内容	<p>定型業務の業務量調査を全庁的に実施し、AI等により効果が期待できる業務を把握する。</p> <p>既にRPAを導入した事務に対し、導入効果を検証し、増強、縮小、廃止等の見直しを行う。</p> <p>AIや新たなデジタル技術を用いて、行政事務の改善・簡略化・効率化を目指し、職員の負担軽減に努める。</p>							
年度	R4	R5	R6	R7	R8			
達成 目標	①定型業務の業務量調査実施 ②RPA導入による事務改善 ③AIや新たなデジタル技術による事務改善の検討・検証・実装	—————→						
数値 目標	—	—	—	—	—	—		

番号	⑤	取組 項目名	電子決裁・文書管理システム及びペーパーレス化の推進			担当課	行政まちづくり課 スマートシティ課
						新規	
取組 内容	<p>モニターやオンライン会議を活用して会議・ミーティングのペーパーレス化を進める。</p> <p>また、内部事務の決裁及び文書管理の電子化を推進し、ペーパーレス化を図る。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	①印刷の見える化による現状把握・対策検討 ②会議室等のモニター・ツール等の導入	—————→	電子決裁・文書管理システムの検討・選定	電子決裁・文書管理システムの導入作業・稼働テスト	電子決裁・文書管理システム本稼働	—————→	
数値 目標	—	—	—	—	—	—	

1 【基本方針1】自治体 DX の推進

(2) 職員の能力向上と人材の活用

番号	①	取組 項目名	「加賀市人材育成基本方針」に基づく 職員の能力向上と人材活用及び先端 技術に関する知識、経験を有する者の 採用			担当課	人事課 スマートシティ課
						新規	
取組 内容	第3次加賀市総合計画に掲げる施策を推進するため、「加賀市人材育成基本方針」に基づき、多様な職員研修の実施、市役所内部のデジタル人材、行政 DX や産業DXなど先端技術に関する知識、経験を有する者の採用等を進める。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	「加賀市人材育成基本方針」に基づく職員の能力向上と人材活用						
数値 目標	—	—	—	—	—	—	

番号	②	取組 項目名	デジタル人材の育成			担当課	人事課 スマートシティ課
						新規	
取組 内容	各種課題の解決に向け、あらゆる部局において、サイバーセキュリティを確保しつつ DX や BPR（業務改革）、データの利活用等を進めるデジタル人材の内製化を図るため、職員がデジタル化支援プログラムの受講を行う。また、内製化によるデータサイエンティストの養成を行う。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	①民間教育プログラム、大学プログラムの受講 ②大学派遣によるOJT 育成						
数値 目標	—	—	—	—	—	—	

1 【基本方針1】自治体 DX の推進

(3) 行政サービスの向上

番号	①	取組 項目名	マイナンバーカードの普及と利活用の促進			担当課	スマートシティ課 窓口課 保険年金課
						新規	
取組内容	<p>国のマイナポイント付与等の取組と連動したマイナンバーカード普及に関する啓発を市広報・SNS等を活用して実施する。また、出張申請受付についても希望に応じ、積極的に対応する。</p> <p>市運用の電子申請サービス及び国運用のマイナポータル双方の申請種類の拡充を行う。また、マイナンバーカードを活用した新たなサービスの検討及び検証・実装を目指す。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成目標	①市広報・SNS等による啓発、出張申請受付の実施 ②電子申請の拡充・新たなサービスの検討・検証・実装						→
数値目標	①交付率 80% —	—	—	—	—		

番号	②	取組 項目名	ライフイベントの際の煩雑な手続のワンストップ化の推進			担当課	窓口課 保険年金課
						新規	
取組内容	<p>「デジタル社会の実現に向けた重点計画」の進捗を踏まえ引越しワンストップサービスの運用を開始する。その後、窓口業務の BPR の進捗を踏まえ、子育て、介護、死亡・相続に関する手続のワンストップ化を検討する。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成目標	引越しワンストップサービス運用開始	ライフイベント窓口案内サイン等の検討	受付手順・処理票の整備	ライフイベント総合窓口の試行・実施			→
数値目標	—	—	—	—	—		

1 【基本方針1】自治体 DX の推進

(3) 行政サービスの向上(つづき)

番号	③	取組 項目名	デジタルデバйд対策	担当課	スマートシティ課
				新規	
取組 内容	<p>マイナンバーカードを活用した電子申請などのデジタル行政サービスの利用を市内全域に浸透させることを目的とし、全世代間で情報格差が生じないように、特に高齢者が取り残されないよう、高齢者を対象とした「マイナンバーカード対応スマートフォン購入助成」の実施及び「スマホ教室」、「スマホよろず相談所」の開催を行う。また、地域の人が地域に教えるエコシステムの構築を目指し、「シニアスマホアンバサダー」を育成する。</p>				
年度	R4	R5	R6	R7	R8
達成 目標	①スマホ購入助成の目標値達成 ②スマホ教室・よろず相談所参加者数の増加 ③シニアスマホアンバサダー認定者の増加	①スマホ教室・よろず相談所参加者数の増加 ②シニアスマホアンバサダー認定者の増加	→		
数値 目標	①300件 ②年間参加者数 200人 ③年間認定者数 5人	①年間参加者数 250人 ②年間認定者数 5人	①年間参加者数 300人 ②年間認定者数 5人	①年間参加者数 300人 ②年間認定者数 5人	①年間参加者数 300人 ②年間認定者数 5人

2 【基本方針2】連携・協働によるまちづくりの推進

(1) 市政への積極的な市民参画の促進

番号	①	取組 項目名	パブリックコメント等の積極的展開			担当課	スマートシティ課
						継続	
取組 内容	市の基本的な施策に関する計画及び指針をはじめ、市民の生活に関わる計画等の作成にあたり、パブリックコメント等により市民意見を取り入れるほか、市のホームページやSNS等を通じて、市民参画の促進と市政の透明化を図る。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	制度の周知を進める	→					
数値 目標	—	—	—	—	—		

番号	②	取組 項目名	透明性の高い外部評価等の実施と施策への反映			担当課	スマートシティ課
						継続	
取組 内容	<p>評価手法等について研究・改善を図りながら、総合計画の施策体系に沿い、行政内部で実施した事業を振り返る内部評価と、内部評価の結果を市民目線で客観的に検証する外部評価を実施する。評価結果については、次年度以降の予算編成時の基礎資料とし、予算反映を行う。</p> <p>また、市民に説明責任を果たすため、行政（外部）評価の結果を踏まえ、実施している施策や予算編成をわかり易く説明する資料を作成し、情報公開する。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	市民参加の促進 (外部評価の充実)	公募委員の参加 (透明性・公平性の確保)	評価手段の研究 (評価レベルの向上)	→			
数値 目標	—	—	—	—	—		

2 【基本方針2】連携・協働によるまちづくりの推進

(2) 各種団体との連携の推進

番号	①	取組 項目名	産学官金等連携による効率的な行政 運営の推進			担当課	全庁
						継続	
取組 内容	積極的に民間企業（産）や大学（学）、他行政機関（官）、金融機関（金）等 が持つ知識や技術、ノウハウ等を活用することで、効果的な市政運営に取り組 む。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	委員会等における 産学官金等の連携	→					
数値 目標	—	—	—	—	—		

番号	②	取組 項目名	自主防災組織による地域防災活動の 強化			担当課	危機対策課
						継続	
取組 内容	県の自主防災組織リーダー育成事業を活用し、自主防災組織のリーダーとな る防災士の養成を推進する。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	防災士の養成	→					
数値 目標	60人	60人	60人	60人	60人		

番号	③	取組 項目名	加賀市 SDGs パートナーの連携促進			担当課	スマートシティ課
						新規	
取組 内容	市内の金融機関や企業をはじめ、関係団体に対し、本市と共に SDGs を推 進するパートナーを登録する「加賀市 SDGs パートナー制度」を推進し、SDGs の普及・促進を図り、地域における SDGs 推進の「自立的好循環」を目指す。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	加賀市 SDGs パー トナーの登録件数	→					
数値 目標	30人	40人	50人	60人	70人		

2 【基本方針2】連携・協働によるまちづくりの推進

(3) 積極的な行政情報の提供

番号	①	取組 項目名	効率的かつ効果的な行政情報の提供 と発信		担当課	スマートシティ課	
					継続		
取組 内容	「広報かが」、市のホームページ、新聞、ケーブルテレビ、フェイスブックページ等の様々な媒体を活用して、より身近に効果的に行政情報の提供を行う。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	先進的な取組を中心 に各種媒体での 広報					→	
数値 目標	—	—	—	—	—	—	

3 【基本方針3】 質の高い行政サービスの提供

(1) 機能的で最適な行政組織の構築

番号	①	取組 項目名	多様な市民ニーズに対応できる職員 数の適正化		担当課	人事課
取組 内容	多様化する市民ニーズに対応できるよう、職員のワークライフバランスへの配慮やデジタル化による業務の効率化を進めつつ、令和5年4月からの定年延長制度による職員構成の変化等も踏まえて、育児休業等長期休暇職員数を考慮した「基準職員数」を目安とし、職員数の適正化に取り組む。					
年度	R4	R5	R6	R7	R8	
達成 目標	ワークライフバランスや業務改善、定年延長制度を踏まえた職員数の適正化	→				
数値 目標	基準職員数 545人	基準職員数 545人	基準職員数 545人	基準職員数 545人	基準職員数 545人	

3 【基本方針3】 質の高い行政サービスの提供

(2) 民間活力を活用した行政サービスの向上

番号	①	取組 項目名	民間活力の効果的な活用 (公民連携の推進)			担当課	財政課
						新規	
取組 内容	<p>従来から導入している指定管理者制度については、より優れた民間のノウハウ等を積極的に導入するため、特に理由のある場合を除き、公募による選定を行う。</p> <p>また、市民サービス水準の向上やコスト削減等の観点から、PFIなどの手法も検討し、民間活力の効果的な活用の検討を図る。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	新規施設における指定管理者制度等民間活力の導入検討					→	
数値 目標	—	—	—	—	—		

番号	②	取組 項目名	窓口業務のBPRと外部委託の推進			担当課	窓口課
						新規	
取組 内容	<p>基幹系業務の国標準準拠システムへの移行にあわせ、窓口業務の実態調査を実施する。実態調査の結果を踏まえ、ワンストップ対応を行う総合窓口化を目的に新たな業務フローを構築するとともにシステム要件や職場のレイアウト等の見直しを行う。</p> <p>また、その運用の外部への委託についても検討を行う。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	「窓口業務」実態調査の実施	事務フローの見直し、案内サイン等の検討	受付手順・処理票の整備、研修計画策定	研修の実施、外部委託による総合窓口の試行・実施	外部委託による総合窓口の運用		
数値 目標	—	—	—	—	4,000 千円/年の経費削減		

3 【基本方針3】質の高い行政サービスの提供

(2) 民間活力を活用した行政サービスの向上(つづき)

番号	③	取組 項目名	介護予防支援事業の民間委託の推進	担当課	地域包括支援センター
				継続	
取組 内容	<p>介護予防支援事業とは、事業対象者及び要支援と認定された人が要介護状態へ移行することを予防する観点から、介護予防ケアマネジメントを行うものであるが、利用者本位のサービス提供体制を構築するには、より専門的な資格や知識等を要する。業務委託により民間の持つ高度な専門性を生かすことで、サービスの質を向上させ、介護予防へとつなげる。</p>				
年度	R4	R5	R6	R7	R8
達成 目標	委託割合(80%) の維持	→			
数値 目標	—	—	—	—	—

4 【基本方針4】持続可能な財政運営の構築

(1) 将来を見据えた財政運営

番号	①	取組 項目名	「経常収支比率」93%以下の達成			担当課	財政課
						継続	
取組 内容	<p>経常収支比率は財政状況の硬直度を示す比率であり、この数値が高いほど自治体が自由に使える財源が少ないということになる。類似団体等の数値を考慮しつつ、93%以下を目標とし、市民ニーズに的確かつ迅速に対応し、行政サービスを継続的かつ安定的に提供できる財政運営を行っていくため、中期財政計画を策定し、必要な歳入の確保及び歳出の適正化を目指す。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	中期財政計画に基づく財政運営の実施	→					
数値 目標	93.8%	93.7%	92.7%	92.8%	92.7%		

番号	②	取組 項目名	「実質公債費比率」10%以下の維持			担当課	財政課
						継続	
取組 内容	<p>実質公債費比率は、歳出における市債の元利償還金等による負担の度合いを示し、比率が低いほど公債費による負担が少ないことを示すものである。この比率が、18%以上になると市債の発行について、県の許可が必要となる。そこで、中期財政計画の中で目標を定め、実質公債費率の改善に努める。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	市債の発行抑制及び交付税措置の有利な市債の活用	→					
数値 目標	9.1%	9.2%	9.2%	9.1%	9.2%		

番号	③	取組 項目名	市債残高（臨時財政対策債を除く）を視野に入れた起債の運用			担当課	財政課
						継続	
取組 内容	<p>市債の残高が増えることは後年度の負担が増加し、財政の硬直化の要因となる。中期財政計画の中で目標を定め、市債残高の抑制に努める。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	償還財源の備えを講じながら市債残高を視野に入れた借入を行う。	→					
数値 目標	—	—	—	—	—		

4 【基本方針4】持続可能な財政運営の構築

(1) 将来を見据えた財政運営（つづき）

番号	④	取組 項目名	財政調整基金の残高 9 億円（標準財政規模の 5%程度）以上の維持			担当課	財政課	
						継続		
取組 内容	災害発生時など不測の財政需要が生じたときの年度間の財源の不均衡を調整するため、一定の残高を確保し、弾力的な対応の備えとする。							
年度	R4	R5	R6	R7	R8			
達成 目標	財政調整基金残高 9億円以上を維持	_____→						
数値 目標	同上	_____→						

番号	⑤	取組 項目名	補助金及び負担金の廃止、削減、統合等の見直し			担当課	財政課	
						継続		
取組 内容	「補助金・負担金見直しの視点」（平成 22 年度作成）を基本に、補助金・負担金の必要性、費用対効果、経費負担のあり方を精査し、廃止、削減、統合等の見直しを行う。							
年度	R4	R5	R6	R7	R8			
達成 目標	各事業における見 直しを行う	_____→						
数値 目標	—	—	—	—	—	—		

番号	⑥	取組 項目名	将来を見据えた基金の活用			担当課	財政課	
						継続		
取組 内容	特定目的基金を、重点事業の実施や市債の元利償還費等に計画的に活用することにより、将来の財政負担の平準化を図る。							
年度	R4	R5	R6	R7	R8			
達成 目標	中期財政計画に基 づく基金の活用	_____→						
数値 目標	—	—	—	—	—	—		

4 【基本方針4】持続可能な財政運営の構築

(2) 歳入の確保

番号	①	取組 項目名	市税滞納額の削減			担当課	税料金課
						継続	
取組 内容	悪質な滞納者に対しては厳格な滞納処分を執行し、担税力のない滞納者には適正な執行停止を実施し、収入未済額（滞納額）の削減に努める。また、南加賀地区地方税滞納整理機構の継続や多様な納付環境の整備、新たな滞納処分の実施等により収納の増額につなげる。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	市税滞納額の削減	→					
数値 目標	20.7 億	20.6 億	20.4 億	20.2 億	20.0 億		

番号	②	取組 項目名	宅建業者等の仲介、委託による市有地 (普通財産)の売却			担当課	財政課
						継続	
取組 内容	宅建協会の仲介あっせんで令和3年に市有地の売却を行った。平成19年12月10日付「加賀市市有地売却事業に関する市有地財産処分の媒介に関する協定」に基づき、次年度以降も継続し、取り組む。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	仲介等の継続実施	→					
数値 目標	—	—	—	—	—		

番号	③	取組 項目名	「ふるさと納税」の推進			担当課	商工振興課
						継続	
取組 内容	「ふるさと納税」の寄附額の増加と地場産品の振興に向け、地場産品等の特徴ある魅力的な返礼品の開発・調達を行うことで返礼品を充実するとともに、寄附をされた方の利便性の向上等に取り組む。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	寄附額の増	→					
数値 目標	前年度比 1,000 万円	前年度比 1,000 万円	前年度比 1,000 万円	前年度比 1,000 万円	前年度比 1,000 万円		

4 【基本方針4】持続可能な財政運営の構築

(3) 地方公営企業の経営健全化

番号	①	取組 項目名	水道事業会計の経営健全化			担当課	水道課 経営企画課
						継続	
取組 内容	人口減少による水需要の減少や施設の適正化を鑑み、料金改定も見据えながら業務改善を行い、長期的に安定した経営を目指す。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	収入増加策・業務 改善の検討	→	新水道事業 ビジョン策定	新ビジョンに 沿った経営の実施	→		
数値 目標	—	—	—	—	—		

番号	②	取組 項目名	下水道事業会計の経営健全化			担当課	下水道課 経営企画課
						継続	
取組 内容	下水道事業の効率化を図り、加賀市汚水処理構想に基づき、2つの浄化センター（片山津・大聖寺）の統廃合を進めるとともに、業務改善策を検討し、安定した経営を目指す。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	収入増加策・業務 のアウトソーシン グの検討 下水道計画の変更	→ 流域下水道 移譲手続	大聖寺川浄化セン ター管理委託開始	→	浄化センター統合		
数値 目標	—	—	—	—	—		

番号	③	取組 項目名	病院事業会計の経営健全化			担当課	加賀市医療センター 総務課
						継続	
取組 内容	病床稼働率の向上をはじめとする経営の効率化に取り組み、安定した経営基盤の再構築を図る。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	計画の推進による 増益				→		
数値 目標	病床稼働率： 一般 75.6%→ 89.7%により 180 百万円増益	病床稼働率： 一般 92.0% により 309 百万円増益	病床稼働率： 一般 92.0% により 359 百万円増益	病床稼働率： 一般 92.5% により 395 百万円増益	病床稼働率： 一般 92.5%によ り 403 百万円増益		

(Ⅱ) 公共施設マネジメント編

5 【基本方針5】公共施設マネジメントの推進

(1) 分野別計画の推進

番号	①	取組 項目名	「加賀市公立保育園再編基本計画」の 推進			担当課	子育て支援課
						継続	
取組 内容	本計画に基づき、子どもたちの「育ち」に適する環境の実現を目指すため、 小規模園の再編を推進する。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	小規模園の再編	—————→					
数値 目標	—	—	—	10 園減 (17 園→7 園)			

番号	②	取組 項目名	「加賀市立小中学校の規模適正化に 向けて（基本計画）」の推進			担当課	教育庶務課
						継続	
取組 内容	「加賀市立小中学校の規模の適正化に向けて（基本計画）」に基づき、将来の 子どもたちの教育を見据えた学校の適正規模・適正配置を図る。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	小学校の統廃合に よる規模の適正化	—————→					
数値 目標	—	—	—	—	統廃合により1校減		

番号	③	取組 項目名	「加賀市スポーツ推進計画」の推進			担当課	スポーツ推進課
						継続	
取組 内容	市内に重複して設置されている同種体育施設について、施設の現状や市民二 ーズを踏まえながら、統廃合を含む適正配置を推進する。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	体育施設の適正配 置（統廃合）検討	—————→					
数値 目標	—	1 施設削減	—	—	2 施設削減		

(Ⅱ) 公共施設マネジメント編

5 【基本方針5】公共施設マネジメントの推進

(1) 分野別計画の推進（つづき）

番号	④	取組 項目名	消防車両及び分団車庫の整備の推進			担当課	消防総務課・消防署
						新規	
取組 内容	<p>非常備(消防団)消防車両について、分団統合を見据え更新時期を捉えて消防ポンプ自動車から小型動力ポンプ積載車等（ワゴンタイプ等）への切替えを図る。</p> <p>また、分団車庫について、統合対象地区を決定し、当該地区に新規施設を整備するとともに、不要となる車庫を廃止する。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	対象地区の検討	対象地区の決定	対象分団への提案	次年度予算要望	車両更新計画策定 統合分団施設整備		
数値 目標	—	—	—	—	8百万円削減 1分団削減		

番号	⑤	取組 項目名	「加賀市営住宅長寿命化計画」の推進			担当課	建築課
						新規	
取組 内容	<p>管理戸数について、需要予測に基づき用途廃止や統合を行い、適正化を図っていく。維持管理費について、ライフサイクルコストから算出される費用に基づき各年平準化されるよう計画する。</p> <p>長寿命化計画を改定するにあたり、客観的に検証する計画策定委員会を設置し、外部からの意見を取り入れる。</p>						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	各住宅の現状確認	計画の見直し	—————→				
数値 目標	—	1業務	—	—	—		

(Ⅱ) 公共施設マネジメント編

5 【基本方針5】公共施設マネジメントの推進

(1) 分野別計画の推進（つづき）

番号	⑥	取組 項目名	「加賀市学校施設長寿命化計画」の推進		担当課	教育庶務課	
					新規		
取組内容	令和2年度に策定した「加賀市学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能及び性能の確保を推進する。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成目標	維持管理等に係るコスト縮減及び予算の平準化	—————→					
数値目標	—	—	—	—	—		

番号	⑦	取組 項目名	「加賀市都市公園施設長寿命化計画」の推進		担当課	土木課
					新規	
取組内容	「加賀市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、予防保全型の更新を的確に実施しながら改修・更新費用の抑制と平準化を図る。					
年度	R4	R5	R6	R7	R8	
達成目標	国申請	改修工事	—————→			
数値目標	40公園	5公園	5公園	5公園	5公園	

番号	⑧	取組 項目名	「加賀市橋梁長寿命化修繕計画」の推進		担当課	土木課	
					新規		
取組内容	「加賀市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、適切な予防保全を行うことで、修繕工事費の抑制と平準化によるライフサイクルコストの縮減を図る。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成目標	法定点検 改修工事	—————→					
数値目標	77橋 5橋	48橋 3橋	— 3橋	87橋 3橋	105橋 3橋		

(Ⅱ) 公共施設マネジメント編

5 【基本方針5】公共施設マネジメントの推進

(2) 公共施設の最適化

番号	①	取組 項目名	「加賀市公共施設マネジメント個別 施設計画」の推進		担当課	施設所管課	
					新規		
取組 内容	「加賀市公共施設マネジメント個別施設計画」に基づき、施設の統廃合や除却等を進め、公共施設の最適な配置を実現する。						
年度	R4	R5	R6	R7	R8		
達成 目標	公共施設の最適化	—————→					
数値 目標	—	—	—	—	—		